

12 がつひかりごう

平成 30 年 12 月 1 日 輝 保 育 園

小春日和が続き、とても過ごしやすい 11 月でした。年末になり、少し冬らしくなってきました。園庭に出るまでの途中に紅葉が見えます。綺麗な紅色に色付きはじめ、1 才児の男の子が「赤！ きれい！」と指さして教えてくれました。こんなに小さな子でも、美しいという感覚が生まれていると嬉しい気持ちになりました。年末になり、大人は慌しくなりませんが、子どもと少し立ち止まって、美しい自然を眺めるのもいいものです。

【 マラソン 】

マラソンの練習が始まります。
毎朝、9:30 から走り始めます。
病気に負けない身体、最後まで頑張る心を目指しています。
ご家庭では、十分な休養と栄養そして、早起きの励行をお願いします。



== ナース・レポート ==

【 インフルエンザ 】

インフルエンザウイルスにはいくつかの型があり、年によって流行する型が違います。

突然 38℃ から 40℃ 前後の熱がでて、悪寒、のどの痛み、咳、鼻水のほか、筋肉痛や関節痛などを伴います。

予防にはワクチンが有効です。

インフルエンザワクチンの接種には感染予防のほか、インフルエンザを発症した場合でも重症化を防ぐ働きがあります。

これは子どもや高齢者にとっては特に大切なことです。

小さな子ども（特に 1～5 才）の場合、ワクチン接種をしておくことで、重い合併症と言われるインフルエンザ脳症の予防が期待できます。

接種後、2 週間以上たないと効果が現われてこないため、早めに済ませましょう。

インフルエンザは世代を問わず、みんなが抱える問題です。

自分自身が感染することを防ぐため、そして周囲の人へ感染させることを防ぐためにも、ワクチンの接種を受けましょう。

《 《 《 お 願 い 》 》 》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭生活 ☆☆

～ 家庭の取組 ③ ～

4. お手伝いをしてもらったら

子どもがお手伝いをしてくれたら「ありがとう」「助かったよ」など、親として「うれしい」という気持ちを率直に言葉や態度で表現しましょう。

たとえ、少し中途半端だったとしても「まだ、できていないじゃないの！」ではなく「ここまでしてくれたのね、ありがとう」などやったことを認め、「次もやってくれるとうれしいな」というように、やる気を持たせることが大切です。

お手伝いや家庭での役割を 続けさせるポイント

- 簡単で、毎日できることから始めましょう。自然に習慣が身につきます。
- はじめは、要領やコツを教えながら親子で一緒に楽しみながらやってみましょう。
- うまくいかないときは、どうしたらうまくいくか一緒に考えてみましょう。
- 多少時間がかかっても、最後まで待ち、達成感を感じさせましょう。
- 「ありがとう」「助かった」など、感謝の気持ちを伝え、家族の役に立っていることや必要とされていることを感じさせましょう。



「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

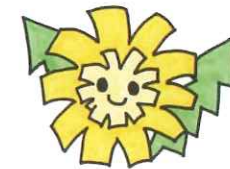
こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ 0 才児



新しいお友だちが入り、ますますにぎやかになった 0 才児クラス。新しいお友だちは、まだまだ登園時に保護者と離れる時は不安で涙がたくさん出てしまいます。ですが、この 1 ヶ月で保育士の顔を覚え、「抱っこ」と両手を広げたり、担当の保育士の顔を見て安心したように笑顔を見せてくれたりと、少しずつ園での生活がなじんできたことや保育士が身近な大人になったことが窺えます。在園児のお友だちは、新しいお友だちのことが気になり、そっと近づいて顔を覗き込んだり、泣いている子の頭をなでてくれたりと、優しく接してくれている姿が見られます。時には、「私も抱っこしてよ」と甘えることもあります。それぞれが受け入れ、生活を共にする意識を持ち始めていることが窺え成長を感じています。

たんぽぽぐみ 1 才児



寒くなり、戸外に出る時、上着を着て出ることも増えてきました。2 才半前後の子たちは、自分で袖に手を通そうと頑張っています。どの子も上手いかわなくても、何とか自分でやってみよとし、出来ると「できた！」と、とても嬉しそうな表情を見せてくれます。どうしてもうまくいかない子は、「ここに手を入れてね」と声をかけながら片方の腕を通すと、もう片方は何とか頑張って自分で着ています。また、ズボンを書くことが上手になってきました。ズボンを穿きやすいように床に置くと、自分で手に取り、足を通します。足が出たら、立ち上がり、引き上げようとしますが、なかなかうまくいかないこともあります。上手いいったときに一緒に喜んだり、さりげなく手伝ったりしながら、自分で出来る喜びを感じられるよう関わっています。

すみれぐみ 2 才児



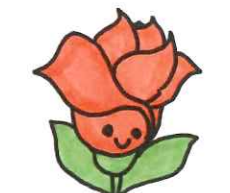
先月はどんぐり拾いやバッタやコオロギなど秋の自然に触れる機会を設け、お散歩を楽しみました。道端に咲いているコスモスの花の匂いをかいだり、柿の木をみつけると「おいしそう」、「食べたいね」と子ども達。「はしごがあったら採れるよ」と柿をどうやって採るかまで考えていました。見たことのない木の実を見つけたと「あれは何だろう？」と興味を示したり、見たり触れたりする中で、子どもたちなりに様々な発見を楽しんでいました。また、拾ったどんぐりでマラカスを作りました。自分で拾ったどんぐりで作るマラカスは「自分の」という特別感があり、目を輝かせながら音を鳴らして遊んでいました。今月も、冬の自然に触れ、子ども達と様々な発見や驚きを共有しながら楽しみます。

ちゅうりっぷぐみ 3 才児



今年もいよいよ最後の月となりました。今月はクリスマス製作や新年を迎えるための大掃除など行事に関する活動を中心に保育を計画しています。さて、3 才時期の身辺自立における最大の課題であるお箸。ご家庭での進行状況はいかがでしょうか？ 正しく握れるようになった子も数人おり、給食時お箸を使用して食べている表情は誇らし気です。その姿に周りの子ども達も刺激を受け「お家で練習してるよ！」、「～をつまめたよ！」と嬉しい声が増えてきました。また、箸先の動かし方のコツを掴もうと、中指の位置を確認する前向きな気持ちを見せてくれる子もいます。ご家庭での様子を確認して頂き、① 中指が正しい位置にあり正しく握れていること、② お箸のみで一定量の食事がとれていること、以上 2 点が達成できていればお知らせ下さい。

ばらぐみ 4 才児



縄跳びの練習が盛んです。コツを掴むまで忍耐を要します。自分で目標を持ち何度引かかってもくじけず、諦めず、自分の心に負けまいと取り組むひたむきな姿。生きる力を、黙々と培っています。コツを掴むとみるみる跳べるようになります。ここまでくると、次は「数」の学びに入ります。4 才児期では、数を唱えるのに比べ実際に数えるのは難しいと言われており、縄跳びでも、はじめの頃は跳んでいる数と唱えている数が異なります。しかし、保育士が横で正しく数えているうちに、10 までの数は合うようになってきました。算数の基礎に繋がる力ですが、知識を教え込んだものではありません。遊びの中から、子ども自身が獲得した力です。体験を通して獲得した力は、決して失われることはないでしょう。幼児期の遊びの大切さを改めて感じます。

ひまわりぐみ 5 才児



戸外で元気に体をたくさん動かして遊んでいます。縄跳びではあや跳びや 2 人跳びに挑戦中です。2 人跳びは友だちと息を合わせないと跳べません。なかなか跳べずに苦戦している子が多くすぐに止めてしまう子もいますが、根気強く取り組んで自分のことだけではなく友達のことも考え、力を合わせる大切さを感じてほしいと願っています。また、11 月の誕生会での出し物と内容をグループごとに話し合い、歌いながら踊ることに決まりました。振り付けがなかなか決まらず困っているグループがいました。そこでみんなでアドバイスを始めました。アドバイスに対して「あーいいね」、「こう？」などとアドバイスを受け入れながら完成させて達成感を感じていました。12 月は寒くても薄着で過ごし、戸外で体をたくさん動かして冬を健康的に過ごしていきます。

= 12 月の行事予定 =

- 6 日 (木) 避難訓練
- 25 日 (火) 身体測定、お誕生会
クリスマス会
集合写真撮影
- 28 日 (金) 保育納め
- 29 日 (土)] 年末年始休み
- 1 月 3 日 (木)]
- 4 日 (金) 保育始め

★ 25 日のクリスマス会の後、集合写真撮影があります。
欠席のないようお願いします。